令和７年度第１回池田町まちづくり会議　報告書

日時等

令和７年７月２９日（火）午後６時３０分～７時２５分、社会福祉センター１号会議室

出席者

まちづくり会議委員２１人（２８人中）、傍聴者なし

安井町長、餌取副町長、町事務局（企画財政課　佐々木課長、阿部係長、種川主任）、

住民アンケート調査受託者（㈱日本コンサルタントグループ　山口氏、中村氏）

１．開会

２．会長挨拶（池田町町内会連合会　栗城冨美雄）

（省略します。）

３．町長挨拶（池田町長　安井美裕）

（省略します。）

４．報告（説明）事項

（１）「第５次総合計画住民意向アンケート調査回答結果」について

町担当者の説明

この住民アンケート調査は、池田町のまちづくり全般に対する意見や評価をいただくため、昨年12月に実施しました。

対象は池田町にお住いの16才以上の方で、世代別に2千人を無作為抽出し、アンケート票を送付しています。回答数は741人、回収率37.1%でした。

本日は、アンケート調査回答をとりまとめした㈱日本コンサルタントグループ山口様、中村様から、アンケート回答調査結果について説明をいただきます。

住民アンケート調査受託者の説明

資料1にもとづき、説明。（詳細は省略し、要点のみ下記のとおり。）

注　質問、回答項目等は、一部簡略化しています。

問1　インターネットの利用

スマートフォンの利用への回答、70 才代では 56%、60 才代では 78%の利用率となった。年々利用率が上がってくるだろう。

問2　池田町の住みごこち

「住みよい」の回答は 55.1%（5年前は 56.7%）、「住みにくい」の回答は 16.8%（5年前は 16.0%）、ほぼ変わらないが、微減の結果となった。

問3　池田町で暮らしたいか
　「住み続けたい」の回答は、63.4％（5年前は　66.8％）これもほぼ変わらないが、住み続けられない方が微増の結果となった。
　その理由は、移動（交通）の不便さ、買い物や飲食の不便さへの回答が6割前後あり、働く場がないとの回答も4割近くあった。

問4　池田町はどのようなまちであってほしいか
　「健康で暮らせる保健・福祉が充実したまち」、「買い物や医療など生活環境が整ったまち」への回答が多かった。

問5　現状の満足度と今後の重要度
　「働く場の確保」、「子育ての環境や支援」、「道路や歩道の除排雪」、「商業の振興」などについて、満足度が低く重要度が高いという結果になった。

問6　池田町からどのような情報が欲しいか
　「町民が利用できる制度やサービスの情報」の回答が、約7割と突出している。

問7　情報伝達の手段
　情報伝達の手段は、ホームページや SNS が 27%に対し、町の広報紙が 54%という結果になった。回答の年齢層にもよるが、紙面での情報提供を求めている。
　なお、報告書 14 ページにより、年齢別の回答率を示しているので、それらを使用し、今後の意向把握の検討につなげる必要がある。

問8　まちづくりへの参画意向
　「まちづくりへの関心」の質問に対し、「関心がある」との回答が6割を超えた。
　また、「住民意向のまちづくりへの反映」の質問に対し、「（反映されているか）わからない」との回答が約 25%となった。
　なお、報告書 14 ページにより、年齢別の回答率を示しているので、それらを使用し、今後の意向把握の検討につなげる必要がある。

問9　地域活動やまちづくり活動への参加に必要なこと
問 10　地域の支え合いや安全安心な地域づくりに大事なこと
問 11　参加したいまちづくり活動
　（報告書のとおり）

アンケート調査結果のポイント
　報告書11ページ
　住みよさへの問いに対し、「住みよい」と回答した 20 才代が比較的高かった。
　若い世代に住み続けてもらうためにどうするかを考える必要があり、その資料として属性や回答内容を一覧表にした。参考にしてほしい。

アンケート調査結果のポイント

報告書 12 ページ

住みよさへの問いに対し、他の年齢層でも回答結果に傾向があるため、属性や回答内容を一覧表にした。参考にしてほしい。

報告書 13 ページ

まちづくり項目ごとの「満足度」や「重要度」について、5年前、10 年前、15 年前の同アンケート調査結果と比較した。

満足度について、ピンク色で囲んだ項目、「地域資源を活かした特産品開発」や「町の広報紙やホームページなど」では、満足度が大きく上がっている。 反対に、水色で囲んだ項目、「公園や緑地の整備」、「道路や歩道の整備」は、満足度が大きく下がっている。

重要度について、「教育環境、公園整備、住宅環境、町民と役場との連携協力」などの項目で、重要度が大きく上がっている結果となった。

報告書 14 ページ

問7・問8について、年齢別の回答率を示しているので、それらを使用し、今後の意向把握の検討につなげる必要がある。

（２）第５次総合計画令和７年度施策評価による委員意見アンケート実施について

町担当者の説明

資料2は、第5次総合計画の各施策について、役場担当係が「施策の主な内容」ごとに成果等をまとめたものになります。

施策の主な内容について、各担当係が進捗状況の「成果と課題」を記載し、そして、左側には評価をA～Dで表しています。なお、評価につきましては、「A」が「順調」であり、「B」「C」「D」と評価が下がりますが、今回、問題があるという評価の「D」という評価は、すべての施策の中で、ありません。

また、目標数値の各年毎の実績値が記載され、達成度合いが示されています。この数値の令和6年度について、現在確認中のところもあり、未記入の部分もありますのでご了承ください。

まちづくり会議委員の皆さまには、この資料をお読みいただき、得意分野と考える施策を4つまで選び、別紙「アンケート回答票」により意見提出をお願いいたします。回答の期限は、8月8日（金）とさせていただきますので、返信用封筒により送付のほど、よろしくお願いいたします。

皆さまからいただきましたご意見をまとめ、第5次総合計画後期計画素案の作成に反映できればと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

５．その他
（なし）

６．次回の開催予定
（１）池田町第５次総合計画後期基本計画素案の検討について
（ワーキンググループ）

町担当者の説明

次回のまちづくり会議の開催日は、10月を予定します。
総合計画後期計画の行政検討内容への意見集約（ワーキンググループ会議）を予定しています。
なお、後期計画の素案については、12月までにまとめ、計画の諮問を行うまちづくり会議もご案内することになります。
お忙しいところ大変恐縮ではありますが、ご協力をお願いいたします。

７．閉会（午後７時２５分）